

ALEXANDER KAJIMOTO OROW PIANO RECITAL

アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル

10/11(水)19時

住友生命いずみホール

Wednesday, October 11, 2023 at 7 p.m.
Sumitomolife Izumi Hall, Osaka

10/17(火)19時

東京オペラシティ コンサートホール

Tuesday, October 17, 2023 at 7 p.m.
Tokyo Opera City Concert Hall

ブラームス: ピアノ・ソナタ第1番 八長調 op. 1
Brahms: Piano Sonata No. 1 in C major op. 1

J. S. バッハ(ブラームス編): シャコンヌ BWV1004
J. S. Bach (arr: J. Brahms): Chaconne BWV1004

シューベルト/リスト: さすらい人
Schubert-Liszt: Der Wanderer

水車小屋と小川(歌曲集「美しき水車小屋の娘」D795から)
Der Müller und der Bach

春への想い
Frühlingsglaube

街(歌曲集「白鳥の歌」D957から)
Die Stadt

海辺で(歌曲集「白鳥の歌」D957から)
Am Meer

シューベルト: 幻想曲 八長調 D760「さすらい人」
Schubert: Wanderer Fantasie D760, op. 15

料金: [10/11] S¥7,000 A¥5,000
[10/17] S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000

主催: KAJIMOTO

©Sasha Gusov

自然と歌と—— 若き天才カントロフから溢れる精神の飛翔

若き天才が再び日本にやってくる。

“天才”という安易な呼称はそうそう使うまいと思うが、若手のピアニストの中でもトリフォノフとこのアレクサンドル・カントロフについて、その遠慮は不要だろう。とびきり優れたタッチ、音の美しさ、抜群の技術・・・そんなことの修練はとっくの昔に卒業してしまったとばかり、音を出した瞬間にカントロフはその音楽の中において、私たち聴き手もまた新しい美意識をもった音楽の世界の住人となっている。いとも自然に。カントロフは日本の自然が好きだが、およそ彼の創る音楽の世界は“自然”そのものだ。

そのカントロフがここ数年心を寄せているのがブラームス。2年前の来日公演ではピアノ・ソナタ第3番を、録音でもブラームスのソナタのリリースを続けている。それは後の緻密で完成した重厚な作曲家像を早くも伝えるとともに、若きブラームスの覇気や先鋭さをも伝えるものだった。今回披露するのはソナタ第1番。まさしく作品1である。明らかにベートーヴェンの「ハンマークラヴィーア・ソナタ」に憧れ、触発されたソナタだ。カントロフはこの作曲家の若き日の野心やエネルギー、誠実さと共に自発的な感情の噴出などの大胆さが、現在の自分に通じると語る。またその“歌心”はシューベルトにも通じると感じ、その最大の——シューベルトには珍しい——ヴィルトゥオーゾ・ピースである「さすらい人幻想曲」とリスト編による歌曲を一緒に弾きたいと思ったそうだ。(既にこのカップリングで録音もされている)

カントロフのような天才のみが可能な、ピアノによる自由な精神の飛翔を、ブラームスやシューベルトの歌心とともに体験したい。

(A)



アレクサンドル・カントロフ(ピアノ) Alexandre Kantorow, *Piano*

“カントロフはリストの生まれ変わりだ。私は、彼のように楽器を操り、これらの作品を奏でるピアニストを他に知らない”

Jerry Dubins(『ファンファーレ』誌)

22歳で挑んだ2019年のチャイコフスキー国際コンクールにおいて、フランスのピアニストとして初めて優勝。

今やフランス・ピアノ界のホープとして定評のある彼は、早くに演奏活動を開始。16歳の時、ナントとワルシャワのラ・フォル・ジュルネ音楽祭から招かれシンフォニア・ヴァルソヴィアと共演して以来、数多くのオーケストラからソリストとして招かれており、とりわけゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と定期的に共演を重ね、また、フィッシャー指揮ブダペスト祝祭管、バッパーノ指揮シュターツカペレ・ベルリン、クルンツィス指揮SWR響や、パリ管、モントリオール響などとも共演。

またアムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、フィラルモニー・ド・パリなどの一流ホールで演奏を披露し、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、ラヴィニア音楽祭などの著名な国際音楽祭に出演している。2022年、ヴァイオリニストのL.ペトロヴァとチェリストのA.バスカルと共に、「ニーム国際音楽祭」の芸術監督に就任。

録音では、デビュー・アルバム『A la russe』(BIS)が、クラシカ誌の年間最優秀シヨク賞に輝き、ディアパゾン誌、ピアノニュース誌の特薦盤に選ばれるなど、広く注目され高い評価を得た。BISレーベルからはリストやサン=サーンスのピアノ協奏曲集のほか、『ブラームス、リスト、バルトーク』アルバム(2020)を録音し、ディアパゾン・ドールとシヨク賞を2年連続で受賞。最新盤の『ブラームス:「ソナタ第3番」「左手のためのシャコンヌ」「4つのバラード」』もディアパゾン・ドールを獲得し、これらブラームス作品を弾いた来日公演は大きな反響を巻き起こした。

2019年、フランス仏批評家協会賞の年間最優秀新人音楽家部門を受賞。2020年には、先述のサン=サーンスの協奏曲アルバムで、フランスの最も権威ある音楽賞「ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージク・クラシック」の2部門(年間最優秀録音部門/年間最優秀器楽ソリスト部門)を同時受賞するという快挙を成し遂げた。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます
(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp>(Pコード: 244-552)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

住友生命いずみホールチケットセンター 06-6944-1188[10/11](10:30~17:00 ※火・日・祝休)

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999[10/17](10:00~18:00 ※月曜定休)



カジモト・イープラス

一般発売:
6/17(土)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 6/9(金)12:00~6/12(月)18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- お車でお越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続き協力をお願い申し上げます。